

警城時報

秋雨しめやかなる平驛に

白井翁の遺靈を迎ふ

紺屋町の控邸に安置

東京市本郷區上富士町前町の邸宅に於て壯嚴に之を出迎ひ、短で長逝した白井遠平翁の遺骨は已に親族の御前より待ち構へてお十三日午前十一時在東京知名多数の自動車多数に分乘し、紺屋の見送りを受け嗣子白井博之氏町に至り遺骨並に靈位は白井氏之を捧持し近親知人の人々に護送邸に安置され、その夜は多数られて上野驛から買切り列車にのりてしめやかなる通夜あり、乗り降りし、秋雨を突いて午後既報の如く、明十五日午前十時が後五時一行を乗せた列車は、午後一時までの間に於て平町が如く平驛に到着、プラントホ南町裏警城銀行所有地に於て莊に、地方名士數百名正装を嚴なる葬儀が営まれ、管である

死刑が無罪か

白水五人殺しの公判

明十五日証人喚問

内郷村大字白水大越五平方一家可多数傍聴人で混雑を極むる五人殺の嫌疑者鈴木治八郎(四)であらうと察せらる。九)は既報の如く第一回公判に於て警察署、検事局並に豫審判事に対する陳述を全然翻へして、村消防組組長西山與十郎氏辭職を認むる陳述を公判したので後任として吉田盛次氏成行き如何は一般から非常な注目を向けられてゐるが、愈々十五日午前十時から平支部に於て千葉裁判長係り窪田檢察官の公判、安藤兩辯護士出廷の上第二回公判が開かる、管で當日は巡查部長七海寅十外二名の證人調への後結審檢事の求刑がある

水道竣工式

役員顔ぶれ

来る十六日舉行する平水道竣工式に於て役員左の如し。
▲総務主任 佐藤助 兼 庶務係長 小野 記
▲八幡小路式場係長 遠藤 三郎

出席左の如き協議をなした。
▲賠償金収入の状況及整理の件
▲第二回補償金の残額報告
▲賠償金所有地の一部變更承認
▲賠償金の一部分納承認の件
▲昨年度補助工事に関する決算報告の件

稲増収品評會

石城郡農會では去る大正十五年から五ヶ年間に亘り平町、湯本、好間、草野、夏井、飯野、平窪、たのこ會社では十二日午後三時天幕、構築露營等總て實戰的に小野繁藏外二十一名を招集し須行ひ十五日の拂曉を待つて同地川主任が直接解職辭令を交付せられたので問題となり辭令を演じて終了する豫定であるが、社につき返して不穩の状態に陥つてゐたが、交渉委員に舉げられた小野繁藏外數名は十三日待を以て迎へられてゐる。

實行委員會

平町南町新市街地道路布設實行委員會は十二日午後二時から町役場、開き山崎委員長以下全員大山、稻田兩技師である。

全集物の講讀者は

漸次減つてゆく

石城地方秋の讀書界

本年春頃から非常な勢ひを以てぬかど觀測してゐるが何れに全國を風靡し平町地方の讀書界にも一大革命を現出させて全集物の會社にあらざれば讀書界のあざむきが如き全集物萬能の時代を見てゐたが其後時代に適應せる新智識の要素なる新刊書も續々と日に現れてゐるが、餘りに永續的なもの拘らず疾風迅雷的に宣傳された結果であらう最近一二月の傾向に徴すると平町各書店扱ひの中からは四五名位宛の解約者が現はれてゐるが尤も或一二の全集には直ちに之が補充を見られぬものもあるが大體に於ては解約の殆んどは補充者なく其儘となつて行く傾向に某書店の豫測によれば十回配本後に至れば三四割位の解約者を見るに至らざる様である。

梨品評調査

赤井、平窪、好間、大野、内郷聯合梨品評會審査の結果左の如し。
▲一等 早生赤平窪金成庄助、赤井鈴木義信
▲二等 平窪鈴木定夫、同根本直一、赤井佐藤泰之助、同海野多久、好間鯨岡忠助、高萩勇雄、同鈴義晴、内郷秋香次郎、同半澤多助
▲三等 平窪根本留吉外十四名
▲四等 大野佐藤三郎外十八名

青年訓練所

夜外演習

勿來町第一第二聯合青年訓練生は東西兩軍に分れ東軍は勿來驛に、西軍は勿來小學校に今十四日午後四時集合して赤津中尉の指導により夜間演習を行ふ管で湯本、平、赤井の三支工場があるが對戰地點は勿來町東端附近となるべく當夜は歩哨、斥候をはじめとして實際に近き各種戰術を實演する外飯ごう炊事、天幕、構築露營等總て實戰的に附近に兩軍衝突し最後の白兵戰を演じて終了する豫定であるが、社につき返して不穩の状態に陥つてゐたが、交渉委員に舉げられた小野繁藏外數名は十三日待を以て迎へられてゐる。

品川白煉瓦職工 昨夕から罷業

平署で万一を警戒

品川白煉瓦株式會社は石城郡内指揮により夜間演習を行ふ管で湯本、平、赤井の三支工場があるが對戰地點は勿來町東端附近となるべく當夜は歩哨、斥候をはじめとして實際に近き各種戰術を實演する外飯ごう炊事、天幕、構築露營等總て實戰的に附近に兩軍衝突し最後の白兵戰を演じて終了する豫定であるが、社につき返して不穩の状態に陥つてゐたが、交渉委員に舉げられた小野繁藏外數名は十三日待を以て迎へられてゐる。

驚いた!!!

こうまで安いとは
— 加納活版所の印刷物!!
得点日立軍十九、警炭軍二十
九、(勝負なし)二
の成績で即ち十の差で日立軍惜しく返り討ちとなつた、戦跡を顧み勝星の演習主將は得意眉宇の間に見せながら語る

聯合体育競技

石城郡南十ヶ町村小學校聯合選手競技會は十二日午前十時植田小學校で行つたが盛會であつた。

日立對 警炭圍碁戰

警城炭礦對日立製作所の第二回圍碁試合は既報の通り此の程湯本町警炭俱樂部に於て
▲日立軍 主將森島初段格、堀

腦病を苦しめて 櫻の木で首を縊る

伊達郡梁川町字中町生れ當時好行術不明になつたので附近民に問村大字北好間字板木澤居住銀頼み行術捜索中であつたが昨日次郎弟土村田與七(四〇)は好三日午前十一時頃箕輪村大和野間村小田炭礦新斜坑運炭線路工電所電工遠藤光雄外二名が好間事の上工に雇はれてゐたが最近村字北好間字行人澤地内野原の樹木に懸はれてゐたが通行中櫻の木で縊死をしてゐたが、西軍は勿來小學校に今十四日午後四時集合して赤津中尉の指導により夜間演習を行ふ管で湯本、平、赤井の三支工場があるが對戰地點は勿來町東端附近となるべく當夜は歩哨、斥候をはじめとして實際に近き各種戰術を實演する外飯ごう炊事、天幕、構築露營等總て實戰的に附近に兩軍衝突し最後の白兵戰を演じて終了する豫定であるが、社につき返して不穩の状態に陥つてゐたが、交渉委員に舉げられた小野繁藏外數名は十三日待を以て迎へられてゐる。

國本社發會式

國本社平支部發會式は二十三日午後一時から平町第二小學校で舉行の管で發會式終了後左の二氏外數氏の講演があつた。
▲題未定 參謀本部第一部長陸軍中將荒木貞夫 ▲健國精神と國本社の使命 樞密院副議長法學博士男爵平沼騏一郎

大森義夫氏の「花と女児入選」

帝展第二部洋画二千四百八十五点に對する鑑査の結果は十二日夕刻發表二百二十三点の入選を決定したが石城郡出身新進洋畫家大森義夫氏の「花と女児」も數回目の入選として見事入選の榮を得た。

大鯉をとる

大浦村下仁井田鈴木鶴吉氏は此程仁井田浦横川に於て地曳網をひき長さ三尺目方三貫匁の大鯉を取つたので見物人で賑つてゐる。

女學生同居者希望

三年生以上 貳人
裁縫及女學校生ニテ朝夕家事手傳
自炊生活同様ニテ通學希望者
問代不要 委細面談
平紺屋町 加納テウ

桑樹繁殖法分譲

城養蠶獎勵會營業技手たりし木田藤次郎氏は静岡縣引佐郡養蠶營業技手を拜命同縣下に於て活動指導中であるが今回各養蠶家より希望を諒とし「實際桑樹繁殖法と其實際」なる著書を刊行希望者へ分譲する事に成つた、嗣氏は桑樹栽培法に就ては非凡の蘊蓄を有する實地實驗より出たる實際的養蠶家の指導好範書、接木法、曲取法、拿取法、其他一般的の曲取法(數十種類)及び實生苗木の成育生産秘訣等實用的實際的 記述の著書である。桑苗木の自給自促を行ひ多少

陪審員資格者

白銀町 佐藤菊治、宮崎善太郎、高橋龜松、横山萬藏、清治、志賀房吉、澤井清吉、櫻井清、志賀千鶴、袖山傳治、松崎吉三郎、花澤四郎、水野龜太郎、鯉岡金之助、長崎太郎、伊東一、菊田萬吉、小

新藥 ラウタール

淋病、其偉効顯著なるに實驗者は驚く、眞に淋病、消濁の特効新藥なり、惱み苦しむものは直ち試みよ必ず救はれん、定價三圓也 重症用拾圓

山野邊藥局

代理店 山野邊藥局 平町五丁目角

社告

野矢安孝

右者九月廿五日限り本社と全然關係無之候に就き御含み置き被下度爲念社告候也

磐城經濟新報社



婦人強壯の効 著大 血をふやし 肉を肥やす 定價 圓壹・圓貳・圓伍 代理店 山野邊藥局 平町五丁目角

十月十五日ヨリ廿五日迄

三井呉服店の冬衣大賣出し

新館陳列營業大擴張 商品豊富 御祝儀物一式 江戸襪京染金二拾圓ヨリ 本秋の新柄モスリン着尺階上陳列仕候 間是非御來觀の程希上候

おつこめ 特價品

- ニニコ大島 壹圓 別珍足袋 (二十五限り)
- 三井別染正絹 壹圓五拾錢 (二十限り)
- 布 團 縞 七拾五錢 白キヤラコ (二十限り)
- 本かへき羽織裏 壹圓六拾錢 黒朱子 (二十五限り)
- 着尺モスリン 參圓八拾錢 (五十限り)

外に破格品山の如し 平町三丁目 電話三八番 **三井呉服店**

例年の通り なべ焼うどん

本日からはじめました 遠近多少にかかわらず出前迅速に致します

平町二丁目横丁(郡役所通)

藤寅

電話(呼出)三〇五番

從五位勳四等白井遠平 永々病氣の處本月九日 午後四時死去致候に付 此段謹告仕候

追而葬儀は平町字南町新道に 齋場を設け十五日午前十時より 午後一時迄相營み可申候 本廣告を以て御通知に代へ申候

昭和二年十月十日

- 嗣子 白井博之
- 親戚總代 白井菊造
- 男爵 田中義清
- 高橋是清
- 高橋八右衛門
- 川崎富吉
- 小林重三郎
- 小島重三郎
- 安島重三郎
- 山崎久太郎
- 諸橋